

第3次ボランティア市民活動推進計画の概要

1. 目的等

本計画は、市民、団体また企業などが、ボランティア活動に対する意識を高め、ボランティア活動への参加の促進と活動に取り組みやすい環境を整備することを目的とする。

ボランティア市民活動推進計画は、平成19年2月に第1次計画、平成26年3月に第2次計画を策定し、本計画は第3次計画となる。

本計画の策定にあたっては、市民や学識経験者など9名で構成するボランティア市民活動推進協議会において会合を重ね、平成31年3月に策定。

2. 計画期間 2019年度から2023年度までの5か年計画

3. アンケート調査

- (1) 調査対象者
 - ◆市民意識調査 無作為抽出した2,000人
 - ◆団体意識調査 ボランティア市民活動センター登録団体153団体
 - ◆企業意識調査 市内企業1,200社

(2) 調査期間 平成29年10月10日～平成29年10月31日

(3) 主な結果

- センターの認知度は、市民意識調査では16%、企業意識調査では15%と大変低い状況の一方で、それぞれの調査でボランティア活動に関心があるとの回答が6割に上っていることから、ボランティアに対する潜在的な活動意識は高い。
- 潜在的な活動意識がある市民等に対して、活動へ導くきっかけづくりとして情報発信の在り方や10代のボランティア意識の高さと活動の継続に関する取り組みの必要、活動意欲の高いシニア世代へのアプローチ、また企業とボランティア団体等をつなぐ制度の構築などが求められている。

4. 計画の推進

基本理念や基本目標は第2次計画を引き継ぎ、計画を推進するために、第2次計画までの取り組みの更なる充実とアンケートの調査結果を踏まえて、「ボランティア市民活動センターのプロモーション」、「ボランティア市民活動を行うためのきっかけづくり」、「支援体制の充実」、「企業ボランティアの推進」の4つの方策を示し、それぞれの方策に具体的な実施項目を定める。

また、第2次計画では具体的な実施項目の記載はあったものの、その事業の効果等を評価する指標は示されておらず、計画の進捗状況の点検や評価を行うにはわかり難い点があったため、本計画では方策ごとに指標を設定し、事業の効果を定量的に把握して、目指すべき目標の「見える化」を図ります。

ボランティア活動推進計画の体系図

基本理念 基本目標

方策と指標

具体的な取り組み

